

スタッフの皆さん、毎日のお仕事ご苦労様です。暑い日が続きます。体調が優れないと感じたら早めに休憩、水分補給などを行い決して無理をしないように心がけてください。

8月は、暑さで発汗量も多くなり、また、集中力も低下し、感電死傷事故が発生しやすい時期になります。そこで経済産業省主唱のもと、電気事故の未然防止を目的に、毎年8月を「電気使用安全月間」と定め全国一斉に、関係団体による電気の使用安全を啓発する活動が展開されています。

2019年度のテーマは、下記です。

1. 日頃から電気の安全を心がけ、かしく上手に使いましょう。
2. 自家用設備の電気事故は、適切な保守点検と計画的な更新で防ぎましょう。
3. 地震、雷、風災害などの自然災害にともなう電気災害に注意しましょう。

今回の衛生委員会通信のテーマは、昨年と同じ「ご家庭の電気安全知識」です。

ご家庭などの電気設備の定期調査をご存知ですか？

**4年に1回の電気の安全調査(漏電調査)**

- 中部電力から委託を受け、4年に1回お客様のご家庭を訪問し漏電の有無などの調査を実施しています。
- 調査費用は無料です。
- この調査は、電気事業法57条、同法施行規則98条等の定めに基づいて実施することになっています。


**二セ調査員にご注意下さい**

- お伺いする調査員は、制服の左胸に写真入りの「調査員証」をつけ「従業員証」を携帯していますので不審に思われた場合は提示を求めて下さい。

**中部電気保安協会**  
<http://www.cdh.or.jp>

電気設備に関するご相談、問合せは最寄り  
の**中部電気保安協会**へご連絡下さい。

わたしたちは、  
いつもお客さまの安全を願って  
電気設備をお守りしています。



ご家庭の電気安全知識

**目次**

**I 日常生活**

- ① ご家庭の分電盤の役割
- ② 電気が消えたときの、ブレーカーの操作方法
- ③ 大切なコードの取り扱い
- ④ コンセント・差込プラグ
- ⑤ アースの取り付け
- ⑥ ぬれた手で電気器具を扱うと危険

**II 災害時**

- ① こんな時どうする？
- ② 避難するときのポイント
- ③ その他

**III その他**

- ① 日頃のチェックでトラッキング対策
- ② 家庭でできる地球温暖化対策(省エネルギー)

**I 日常生活**

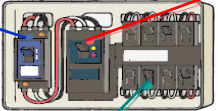
**① ご家庭の分電盤の役割**

**サービスブレーカー(SB)**

- 分電盤の左端についているブレーカーで電力会社との契約以上の電気が流れると自動的に電気が止まる仕組みになっています。

**漏電ブレーカー(ELB)**

- 配線や電気器具などの漏電を感知すると自動的に電気が止まる仕組みになっています。

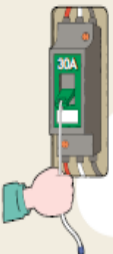


**安全ブレーカー(NFB)**

- 分電盤から各部屋へ電気を送る分岐回路の其々に取付られています。(許容電流は一般的に20A)
- 電気器具やコードなどでショートしたときや使いすぎて過電流が流れた場合に電気が止まる仕組みになっています。
- 200V専用回路には原則200Vの赤字表示があります。


**② 電気が消えたときの、ブレーカーの操作方法**

● サービスブレーカーが切れているとき




電力会社との契約が30A以下の場合  
はヒモを引く。

● 安全ブレーカーが切れているとき



電力会社との契約が40A以上の場合  
つまみを上げる。

● 安全ブレーカーが切れているとき




ご使用中の家電製品の  
プラグをコンセントから  
抜いたうえで、つまみを  
(下に)下げて電気のつくも  
のがあります)

● 漏電ブレーカーが切れているとき

サービス ● 漏電ブレーカー

- 1 サービスブレーカーのつまみが「入」になっていることを確認してください。
- 2 安全ブレーカーのつまみを全部「切」にしてください。
- 3 漏電ブレーカーのつまみを「入」にする。
- 4 安全ブレーカーのつまみをひとつずつ「入」にしてください。
- 5 もし、安全ブレーカーを入れたときに、再び漏電ブレーカーが切れたら、その回路に漏電の疑いがあります。
- 6 悪い回路(漏電)の安全ブレーカーを「切」にし、再び漏電ブレーカーのつまみを「入」にしてください。
- 7 悪い回路(漏電)以外の安全ブレーカーを入れてください。

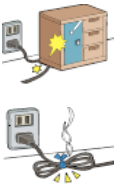
● 悪い回路(漏電)は早めに電気工事店に点検を依頼して下さい



**③ 大切なコードの取り扱い**

コードは家電製品と電源を結ぶ大切な用具です。断線や火災の原因をつくらないように大切に取り扱いましょう。

- ◆ 家具などの下敷きになっていると断線や火災の原因になるのでやめましょう
- ◆ 長いコードを束ねていると火災の原因になるのでやめましょう



**④ コンセント・差込プラグ**

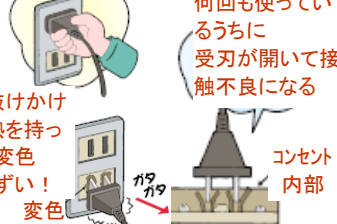
掃除機や電気ドライヤーなどの家電製品を使用するためには電気コードのプラグをコンセントに差し込みます。煩雑にプラグを抜き差しするコンセントや長年使用しているコンセントは、その内部が傷んでが外になりプラグを差し込んでも完全に接触していない状態になることがあります。このような状態を放置すると接触不良により、大変な結果を招きます。早めに取り替えるようにしましょう。冷蔵庫の後ろにあるコンセントは時々点検(掃除)しましょう。

差し込みは深く安全に！

- ・ 抜けかけ
- ・ 熱を持って変色
- ・ 変色

何回も使っているうちに受刃が開いて接触不良になる

コンセント内部



## ⑤ アースの取り付け

洗濯機や衣類乾燥機、エアコン、電子レンジ、冷蔵庫には必ずアースを取り付けましょう。アースは漏電した電気を大地に逃がし、感電などの危険を防いでくれます。



ぬれた手は危険です！



## ⑥ ぬれた手で電気器具を扱うと危険

手を拭いて 電気を安全に使用するうえで、強敵になるのが湿気や水分。家庭の流し台付近、洗面所や風呂場などで電気器具を使う時、ぬれた手でコンセント・プラグ・家電製品(電気ドライヤー・ヒーター等)に触れたとき等、悪条件が重なるとビリビリでは済まないことに。面倒がらずに乾いた状態で扱うようにしましょう。

## II 災害時

### ① こんな時どうする？

#### グラッ！ 地震

地震のとき怖いのは火災、特にアイロン、ドライヤー、ファンヒーターなどの熱を出す機器を使っているときは、ブレーカーを切るかプラグをコンセントから抜きましょう。

#### 雷がなったら！

落雷による影響で、家電製品が壊れたり、火災が発生することがあります。雷が鳴ったら、プラグはコンセントから抜くようにしましょう。

### ② 避難するときのポイント

#### ◆避難するときはサービスブレーカーを切って

地震や台風などで停電になっても電力会社の送電設備に異常がなければ、再び電気は送られてきます。避難するときは電気の消し忘れなどによる事故を防ぐため分電盤のサービスブレーカーを切ってから避難して下さい。

### ③ その他

#### ◆切れた電線には絶対触らない

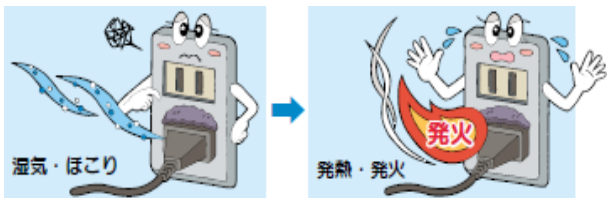
垂れ下がった電線に触ると感電する恐れがあります。切れた電線には絶対に触らないで下さい。また、樹木や看板、アンテナなどに電線が触れている場合も危険です。見つけた時には近づかないで、すぐ、近くの電力会社に連絡して下さい。

## III その他

### ① 日頃のチェックでトラッキング対策

#### ◆「トラッキング現象」とは

差しっぱなしの電源プラグとコンセントのすき間にホコリがたまり、空気中の水分(湿気)が加わると、刃と刃の間にわずかな微電流が流れて、プラグ表面が炭化し、電気の道ができます。これを「トラッキング現象」といいます。この現象により突然プラグが発火することがあります。



## トラッキング 対策は？

- プラグはしっかり差し込みましょう。(コードを抜くときはプラグを持って！)
- 年に数回コンセントからプラグを抜き、プラグの先端部分を拭きましょう。
- 台所やトイレなどの湿気のある場所や家具の後ろなど、ホコリのたまりやすい場所にあるコンセントが汚れていたら、定期的に掃除しましょう。
- 旅行などで長い間家を空けるときは、家電製品のプラグをコンセントから抜いておきましょう。



### ② 家庭でできる地球温暖化対策(省エネルギー)

#### ◆冷房・暖房の設定温度は控えめに

- 冷房は28℃、暖房は20℃を目安に設定。
- カーテンを利用し太陽光の入射を調整、着るものを工夫しましょう。
- 冷暖房を入れる時期を少し遅らせて。

#### ◆待機電力を大幅に削減する

- 主電源を切りましょう。
- 長時間使わないときはコンセントを抜いて。
- 家電製品の買替えの際には待機電力の少ないものを選びましょう。

#### ◆照明はこまめに消灯を

- 無駄な電気を使わないよう、人のいない場所など照明はこまめに消灯。
  - 自然採光を上手に利用しましょう。
- #### ◆トップランナー方式の利用を
- 家電製品の購入、買替えにあたっては、現在発売されている商品の中から最も優れた省エネの数値(トップランナー)基準として取り入れましょう。
  - エアコン、テレビ、冷蔵庫等が省エネ法で打ち出されたトップランナー方式の対象機器になっています。



## 電気使用安全チェックシート

「はい」「いいえ」でチェックしましょう。

- ①自宅の分電盤に漏電遮断機がついている
- ②分電盤に取付ける感震装置や避雷器を知っている
- ③エアコンや洗濯機にアースがついている
- ④たこ足配線をしている
- ⑤コンセントの破損や差込んだプラグに埃がたまっている
- ⑥コードを束ねて使ったり釘やステップルで止めている
- ⑦ぬれた手でコンセントやスイッチにさわっている
- ⑧コードが家具などの下敷きになっていたり、ドアなどではさんである
- ⑨変形したプラグやぐらついたコンセントを使っている
- ⑩専門家でない方がコードとコードを接続したり、プラグやコンセントを自作している

①～③は「いいえ」、④～⑩は「はい」が1つでもあり、ご相談を希望される方は、お近くの各都道府県電気工事(業)工業組合、電気工事店にお問い合わせ下さい。

電気は、私たちが豊かで快適な生活をしていくうえで欠かせないものですが、その使用方法を誤ると大変な事故につながります。今回の内容を日常生活時、災害時のお役に立てばと思います。

☆☆☆

三重県警察

毎月11日!

横断歩道  
"SOS"の日  
さわやかな横断でスマイル

三重県警察は、毎月11日を「横断歩道"SOS"の日」に設定し、横断歩道を通行する車両や歩行者の交通指導、広報啓発活動等を重点的に行う日にします。

### 重要 横断歩道は歩行者優先!

- 自動車は、横断しようとする歩行者がいたら、手前で必ず一時停止して、歩行者を安全に横断させてください。
- 歩行者は、横断前に必ず左右の安全確認をしてください。

横断歩道に歩行者がいる時の一時停止率  
三重県 1.4% (全国ワースト2位)  
全国平均 8.5%  
長野県 58.6% (全国1位)  
みんなでワースト返上を目指しましょう!